

貯法：室温保存

有効期間：36箇月

	配合錠	S配合錠
承認番号	22100AMX01209	22100AMX01208
販売開始	1994年7月	1998年7月







**前立腺肥大症治療剤**

オオウメガサソウエキス・ハコヤナギエキス・セイヨウオキナグサエキス・スギナエキス・小麦胚芽油配合錠

**エルサメット®配合錠****エルサメット®S配合錠****ELSAMET・ELSAMET-S Combination Tablets****3. 組成・性状****3.1 組成**

販売名	エルサメット配合錠	エルサメットS配合錠
有効成分	1錠中： オオウメガサソウエキス 0.5mg	1錠中： オオウメガサソウエキス 1mg
	ハコヤナギエキス 0.5mg	ハコヤナギエキス 1mg
	セイヨウオキナグサエキス 0.5mg	セイヨウオキナグサエキス 1mg
	スギナエキス 1.5mg	スギナエキス 3mg
	小麦胚芽油 15mg	小麦胚芽油 30mg
添加剤	グリセリン脂肪酸エステル、クロスカルメロースナトリウム、軽質無水ケイ酸、結晶セルロース、硬化油、酸化チタン、乳糖水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロースフタル酸エステル、部分アルファー化デンプン	含水二酸化ケイ素、グリセリン脂肪酸エステル、クロスカルメロースナトリウム、軽質無水ケイ酸、結晶セルロース、硬化油、酸化チタン、シヨ糖脂肪酸エステル、乳糖水和物、ヒプロメロースフタル酸エステル、部分アルファー化デンプン、プルラン

**3.2 製剤の性状**

販売名	エルサメット配合錠	エルサメットS配合錠
色・剤形	白色の腸溶性フィルムコーティング錠	白色～微黄白色の腸溶性フィルムコーティング錠
外形		
		
		
直径	7.2mm	8.3mm
厚さ	3.9mm	4.5mm
質量	160mg	210mg
識別コード (PTP)	t 202	t 299

**4. 効能又は効果**

前立腺肥大に伴う排尿困難、残尿及び残尿感、頻尿

**6. 用法及び用量****〈エルサメット配合錠〉**通常1回2錠、1日3回経口投与する。  
症状に応じて適宜増減する。**〈エルサメットS配合錠〉**通常1回1錠、1日3回経口投与する。  
症状に応じて適宜増減する。**11. 副作用**

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

**11.2 その他の副作用**

	0.1～5%未満	頻度不明
皮膚	発疹、そう痒感等の過敏症状	多形紅斑
消化器	食欲不振、腹痛、胃部不快感、胃痛、悪心	
肝臓		肝機能異常、黄疸
代謝異常	血中尿酸上昇	
その他	倦怠感	しびれ

注）発現頻度はエビプロスタット錠の使用成績調査及び同等性試験を含む。

**14. 適用上の注意****14.1 薬剤交付時の注意**

PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することがある。

**18. 薬効薬理****18.1 作用機序**前立腺肥大症患者において、前立腺の炎症は過形成や症状の進行に関与しており、また、膀胱の慢性虚血による酸化ストレスも、排尿筋過活動による蓄尿症状の原因となっている。抗炎症作用や抗酸化作用により、前立腺肥大症における排尿障害を改善すると推察される<sup>1)</sup>。**19. 有効成分に関する理化学的知見****〈オオウメガサソウエキス〉**一般的名称：オオウメガサソウエキス  
性状：褐色の液で、特異なおいがある。**〈ハコヤナギエキス〉**一般的名称：ハコヤナギエキス  
性状：褐色の液で、特異なおいがある。**〈セイヨウオキナグサエキス〉**一般的名称：セイヨウオキナグサエキス  
性状：淡黄褐色の液で、特異なおいがある。**〈スギナエキス〉**一般的名称：スギナエキス  
性状：黄褐色～緑褐色の粉末で、特異なおいがある。**〈小麦胚芽油〉**一般的名称：小麦胚芽油  
性状：淡黄色澄明の油で、僅かに特異なおいがあり、味は緩和である。ジエチルエーテル又はシクロヘキサンと混和し、エタノール（95）に溶けにくく、水にほとんど溶けない。**22. 包装****〈エルサメット配合錠〉**

100錠 [10錠 (PTP) × 10]

**〈エルサメットS配合錠〉**

100錠 [10錠 (PTP) × 10]、1000錠 [10錠 (PTP) × 100]

**23. 主要文献**

1) 佐々木康男ほか：薬理と治療。2006；34（3）：299-304

**24. 文献請求先及び問い合わせ先**日医工株式会社 お客様サポートセンター  
〒930-8583 富山市総曲輪1丁目6番21  
TEL (0120) 517-215  
FAX (076) 442-8948

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元



26.2 発売元



26.3 販売

**武田薬品工業株式会社**  
大阪市中央区道修町四丁目1番1号